

導入事例 株式会社オプテージさま

「GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウド」が、大規模組織でも柔軟に対応するメールセキュリティ環境を構築

オプテージではメールシステムの刷新をきっかけに、セキュリティシステムの見直しを検討。PPAP対策が叫ばれる中、セキュリティ強化が期待されるダウンロードリンク化方式への移行を決定した。その実現のため、細かな設定が可能なクラウド型セキュリティシステムを採用し、大規模組織でのさまざまな要求にも迅速に対応できるメールセキュリティ環境を実現した。



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">課題</p> <p>有効なPPAP対策を講じることでセキュリティを強化したい</p> <hr/> <p>オンプレ運用による運用コストを削減したい</p> <hr/> <p>社内部署のさまざまな要望に迅速に対応したい</p>	➔	<p style="font-weight: bold;">効果</p> <p>メール添付ファイルの送信方法をzip暗号化方式からダウンロードリンク化方式に変更することで、PPAPに関わる問題を解消し、セキュリティを向上させた</p> <hr/> <p>オンプレミスからクラウドへ移行することで、セキュリティ基盤の運用コストを削減。ダウンロードリンク化方式への変更により、イレギュラー対応も激減した</p> <hr/> <p>クラウド移行により業務時間内でも設定変更などが可能になり、各部署のさまざまな要望に迅速に応えられるようになった</p>
---	---	--

<お客さまプロフィール>



関西一円に広がる高品質で安定した独自の光ファイバーネットワークを基盤とした個人向けインターネットサービス「eo光」や、携帯電話サービス「mineo(マイネオ)」、ホームセキュリティ、ホームIoTなどの提供に加えて、「OPTAGE for Business」として、ネットワーク、クラウドサービスや自社運営のデータセンターなど、企業向け総合情報通信サービスを提供しています。
<https://optage.co.jp/>

お話を伺った方



写真左から、河原さま、小泉さま、荻さま

株式会社オプテージ
 経営本部 コーポレートITシステム部
 IT基盤・技術支援チーム
 チームマネージャー
 荻 健一郎 さま

経営本部 コーポレートITシステム部
 IT基盤・技術支援チーム
 小泉 佳大 さま

経営本部 コーポレートITシステム部
 IT基盤・技術支援チーム
 河原 秀平 さま

導入前の課題と背景

メール環境移行をきっかけにPPAP対策を検討

以前からGUARDIANWALLをお使いいただいていたようですが、「はい、従来はGUARDIANWALLのオンプレミス版を利用していました。クラウド版への切り替え検討のきっかけとなったのは、Microsoft 365導入に伴ってメール環境がオンプレミスのExchangeからExchange Onlineへ移行したことがまず挙げられます。加えて、当社グループ内でセキュリティガイドラインの見直しがあり、PPAP対策としてファイル添付に代わってダウンロードリンクの利用も認められるようになったことも挙げられます」(小泉さま)

導入の必然性

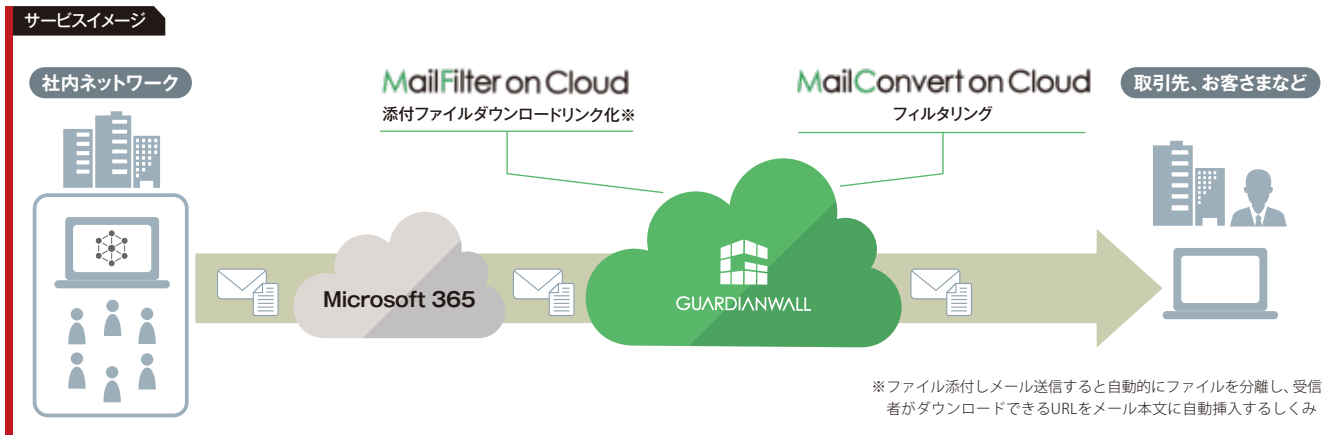
セキュリティ要件を満たす細かな条件設定が可能なGUARDIANWALLクラウド版を採択

製品採択の際にはどのようなことがポイントになりましたか。「ポイントの1つが、現在稼働しているGUARDIANWALLの機能や設定をうまく引き継げるかという点。最終的には脱PPAPとしてzip暗号化による添付ファ

イル送信をなくしてしまおうと考えていましたが、いきなり変更すれば社内が混乱し、反発を招いてしまう恐れもあります。そのような事態を避けるために、既存のzip暗号化を引き継ぎながら徐々に移行しようと考えていましたので、いったん現状の機能を引き継ぐことが必要でした。加えて、クラウドを導入するにあたって、当社のセキュリティ要件を満たすことができるのかも重要な要件でした。当社のセキュリティ部門が提示するさまざまなセキュリティ要件を満たしていることが必要だったのです。そこには例えば、ISMSやISO27001などの第三者認証に関する項目や、管理画面に対するアクセスが適切に制御されているか、また、国内に拠点があるかなど、運用面などに関する項目などがあります」(小泉さま)

最終的にGUARDIANWALLを採択した理由を教えてください。

「GUARDIANWALLのクラウド版を含めて今回3製品で最終的な比較検討を実施しました。パッケージに近い製品と、反対にフルカスタマイズに近い製品が比較対象となりましたが、パッケージに近い製品はコスト的には有利でしたが、機能やセキュリティ要件が当社の要求を満たしていませんでした。一方、フル



カスタマイズに近い製品は、一つ一つ要件を満たしていくようにカスタマイズしていかなければならず、そのための費用がかなり高額になってしまいました。最終的にGUARDIANWALLを採択した理由としては、とにかく非常に細かい設定が可能であること。例えばダウンロードリンクの有効期限に関して、他社製品は設定日数が短かったり、期間が決まっていたりします。当社のセキュリティチームとも協議し、昨今のサイバーセキュリティの動静を考えると、やはりデータ閲覧の条件などを細かく設定できないと厳しいのではという結論に至り、これらを実現できるGUARDIANWALLを採択しました」(河原さま)

ルトで旧来のzip暗号化で送るようにして、ユーザーが指定すれば新たな方法としてダウンロードリンク化方式を選択できるようにしました。第2段階では、これを反転させてデフォルトがダウンロードリンク化方式、ユーザーが指定すればzip暗号化でも送信できるようにしました。このようにユーザーに慣れてもらう期間と実際に送信方式を変更する期間とを設けてから、最終的にダウンロードリンク化方式のみに移行しました。ユーザーにはおおむね好評で、キャノンMJにもマニュアル関連で相当ご助力いただいたこともあり、運用面でも大きな混乱もなくスムーズに移行できました」(河原さま)

リスクを軽減させる施策です。そういった意味で今回そのようなリスク軽減ができたことは非常に意味があることだと感じています。また、添付ファイル送信の都度、暗号化しさらに解凍パスワードを送信するという2ステップの作業が、1ステップで送信できるようになったことで業務面からの効率化を図ることもできました。以前測定すると全社で1日2,000通送信されており、1件あたり再送信までの待ち時間も含めて1件あたり1分弱必要ですので、合計では相当の工数が削減されたこととなります」(河原さま)

運用の工夫

ユーザーに配慮した3ステップ移行でスムーズに現場に浸透

GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウドへの移行はスムーズに進みましたか。「クラウド版への設定などの移行は、キャノンマーケティングジャパン(以下キャノンMJ)にもご協力いただき非常にスムーズに完了しました。準備が整った段階でシステム試験を兼ねて、最初は我々直接担当する者のみがクラウドで運用し、徐々に全社展開していきました」(小泉さま)

「運用段階に入ると、現場でのハレーションを抑えるため3ステップで段階的に移行を進めていきました。第1段階は、デフォ

取り組みの成果

PPAP対策でセキュリティを向上しながら各部署の要望にも柔軟に対応

移行後にはどのような導入効果が現れていますか。

「まずPPAP対策として、従来のzip暗号化方式からダウンロードリンク化方式に変更して社内展開できたことで、より安全な環境が構築できたと考えています。PPAP対策としてのダウンロードリンク化方式の採用は、暗号化によるウイルスチェックの回避や解凍時に発生する問題などを防止することで、当社のメール送信先であるお客さま側のセキュリティ

クラウド移行のメリットはどのような点で感じておられますか。

「クラウド移行のメリットの1つが、設定変更などの際に逐一システム再起動をしなくてもよくなったことです。従来は定時以降でしか更新作業ができませんでしたが、日中でも必要なタイミングで作業可能になり、効率良く作業できるようになりました。また、現在合計ユーザー数が約8,000の結構大きな組織ですので、各部署の業務によってさまざまな要望・要件が上がってきます。それにどのように対応するのが課題でもあります。クラウド化によって随時設定変更を反映させることができるようになったため、各部署からの要望にも、以前より迅速に答えられるようになったことも大きなメリットです」(小泉さま)

お問い合わせ先

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON S TOWER

canon.jp/it-sec/

